

令和4年度採用

群馬県公立高等学校教員選考試験問題

福 祉

受験 番号		氏 名	
----------	--	--------	--

注 意 事 項

- 1 「開始」の指示があるまでは、問題用紙を開かないでください。
- 2 問題は、1ページから4ページまであります。「開始」の指示後、すぐに確認してください。
- 3 解答は、すべて解答用紙に記入してください。
- 4 「終了」の指示があったら、直ちに筆記具を置き、問題用紙と番号順に重ねた解答用紙を机の上に置いてください。
- 5 退席の指示があるまで、その場でお待ちください。
- 6 この問題用紙は、持ち帰ってください。

- 1 次の文章は「高等学校学習指導要領」（平成30年3月告示）に示された教科「福祉」における科目『社会福祉基礎』の目標である。後の(1)～(2)の設問に答えなさい。

福祉の見方・考え方を働かせ、(①)・(②)な学習活動を行うことなどを通して、社会福祉の向上に必要な基礎的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 社会福祉について体系的・系統的に理解するとともに、関連する(③)を身に付けるようにする。  
(2) 社会福祉の展開に関する課題を発見し、職業人に求められる(④)を踏まえ科学的な根拠に基づいて(⑤)に解決する力を養う。  
(3) 健全で持続的な社会の構築を目指して自ら学び、(⑥)の創造と発展に(⑦)かつ(⑧)に取り組む態度を養う。

- (1) 文中の空欄(①)～(⑧)に適する語句をそれぞれ答えよ。  
(2) 平成30年の学習指導要領の改訂により、科目『社会福祉基礎』では、マネジメント能力を育てる観点から、どのような学習を取り入れることとなったか、答えよ。

- 2 社会福祉に関する、次の(1)～(6)の設問に答えなさい。

- (1) 社会福祉六法を現在の名称で答えよ。  
(2) 2000年に成立した社会福祉法により、施設入所については、どのような制度改革が行われたか答えよ。  
(3) 次の①～⑦の文章を読み、外国における社会福祉の発展について最も関連の深い人物を下の枠から選び、それぞれ記号で答えよ。

- ① アメリカの社会福祉実践家で「ケースワークの母」とも呼ばれる。  
② デンマーク出身で、「ノーマライゼーション」という社会福祉の理念を提唱した。  
③ スウェーデン出身で、②の「ノーマライゼーション」の理念を発展させた。  
④ 貧困の救済に関して、国家として初めて本格的な制度となる「救貧法」を制定した。  
⑤ 1884年、世界初のセツルメントハウスとなるトインビーホールをロンドンに設立した。  
⑥ カリフォルニア州のパークレーで、自立生活を始めた。  
⑦ イギリスで「社会保険および関連サービス」という報告書を発表し、福祉国家の考え方を定着させた。

A	バンク＝ミケルセン	B	ベント・ニリエ	C	エリザベス1世
D	ウィリアム＝ベバリッジ	E	メアリー＝リッチモンド	F	エド＝ロバーツ
G	サミュエル＝バーネット				

- (4) 高齢者等の入所施設で、居室をいくつかのグループに分けてそれぞれを一つの生活単位とし、少人数の家庭的な雰囲気の中で行うケアのことを何と呼ぶか、答えよ。

(5) 次の①～⑦の説明に当てはまる施設の種類や介護サービスの名称を答えよ。

- ① 身体上または精神上著しい障害があるために常時介護を必要とし、かつ、居宅においてこれを受けることが困難な要介護者に対し、入浴・排せつ・食事等の介護、その他の日常生活上の世話、機能訓練、健康管理、相談等のサービスを提供する施設。
- ② 入院による治療は必要ないが、心身の障害のために日常生活の自立が困難な要介護者に、看護・医学的管理のもと、リハビリテーション・看護・介護と日常生活サービスを提供、在宅医療と連携して家庭復帰を目指す施設。
- ③ 長期にわたり療養を必要とする要介護者に対し、療養上の管理、看護・医学的管理のもと、介護、機能訓練、必要な医療などのサービスを提供する施設。
- ④ 65歳以上の者であって、環境上の理由および経済的理由で居宅での生活が困難な高齢者が入所する施設。
- ⑤ 家庭環境・住宅事情等の理由により居宅において生活することが困難な60歳以上の者が、低額な料金で入所する施設。
- ⑥ 介護が必要な状態になっても、住み慣れた地域でそれまでの生活を維持し、尊厳を持って自分らしく暮らすために、通い、泊まり、訪問など利用者や家族の状態に応じて、提供される介護サービス。
- ⑦ 少人数（5～9人）を単位とした共同住居で、食事のしたくや掃除、洗濯などをスタッフが利用者と共に共同で行い、家庭的で落ち着いた雰囲気の中で生活できる介護サービス。

(6) 社会福祉基礎の授業にて、「生活を支える社会保障制度」について取り上げる際、どのようなことに留意して指導を行うことが大切であるか、説明せよ。

3 介護従事者の倫理について、次の(1)～(3)の設問に答えなさい。

(1) 1995年に日本介護福祉士会が定めた日本介護福祉士会倫理綱領は、前文と7つの項目から構成されている。次の前文中の空欄（①）～（④）に適する語句を答えよ。

私たち介護福祉士は、介護福祉ニーズを有するすべての人々が、（①）地域において（②）して老いることができ、そして暮らし続けていくことのできる社会の実現を願っています。

そのため、私たち日本介護福祉士会は、一人ひとりの心豊かな暮らしを支える介護福祉の（③）として、ここに倫理綱領を定め、自らの専門的知識・技術及び倫理的（④）をもって最善の介護福祉サービスの提供に努めます。

- (2) 日本介護福祉士会倫理綱領の7つの項目として、次の空欄（ア）～（ク）に適する語句を答えよ。

- |              |                         |
|--------------|-------------------------|
| ①（ア）本位，（イ）支援 | ② 専門的サービスの提供            |
| ③（ウ）の保護      | ④（エ）的サービスの提供と積極的な（オ），協力 |
| ⑤ 利用者ニーズの（カ） | ⑥（キ）の推進                 |
| ⑦（ク）の育成      |                         |

- (3) 介護の基本にある「尊厳を支える介護」とは、どのような介護のことか、説明せよ。

4 介護保険制度について、次の(1)～(7)の設問に答えなさい。

- (1) 次の介護保険法第1条の空欄（①）～（④）に当てはまる適切な語句を答えよ。

この法律は、加齢に伴って生ずる心身の変化に起因する疾病等により（①）状態となり、入浴、排せつ、食事等の介護、機能訓練並びに看護及び療養上の管理その他の医療を要する者等について、これらの者が（②）を保持し、その有する能力に応じ（③）した日常生活を営むことができるよう、必要な保健医療サービス及び福祉サービスに係る給付を行うため、国民の（④）の理念に基づき介護保険制度を設け、その行う保険給付等に関して必要な事項を定め、もって国民の保健医療の向上及び福祉の増進を図ることを目的とする。

- (2) 介護保険制度の保険者（運営主体）を答えよ。
- (3) 介護保険制度の第2号被保険者が要介護・要支援認定を受ける条件は何か、答えよ。
- (4) 第1号被保険者の保険料の徴収方法の1つである特別徴収について説明せよ。
- (5) 2005年の介護保険法の改正では、どのようなシステムへの転換がなされたか、答えよ。
- (6) 高齢者の総合相談・虐待防止・介護予防マネジメントなどの活動を行うことを目的として、2006年から新たに創設された相談機関の名称を答えよ。
- (7) 2018年の介護保険法の改正により創設された共生型サービスについて説明せよ。

5 ところとからだのしくみについて、次の(1)～(7)の設問に答えなさい。

- (1) 嚥下<sup>えんげ</sup>5期を順番に答えよ。
- (2) 誤嚥<sup>ごえん</sup>を示す状態を3つ答えよ。
- (3) 誤嚥<sup>ごえん</sup>の予防策を3つ答えよ。
- (4) 次の①～③の認知症の原因となる病名を答えよ。
  - ① 原因疾患としては最も多く、もの忘れを主な症状として徐々に進行する脳神経変性疾患である。
  - ② もの忘れの他、幻視を特徴とし、歩行障害やパーキンソン症状を伴うこともある。
  - ③ もの忘れよりも先に、人格が変わる、言葉数が減る、常識的でない不自然な行動をとるといった症状が出やすい。それらの症状の他に、反社会的行為や常同行動が見られる。
- (5) 「せん妄」について説明せよ。
- (6) 伝音性難聴と感音性難聴の違いについて「障害部位」「聞こえ」「補聴器」の観点から説明せよ。
- (7) 「リビングウィル」について説明せよ。

6 次の(1)～(4)の設問に答えなさい。

- (1) 福祉に関する学科における原則履修科目をすべて答えよ。
- (2) 言語活動の充実に当たっては、課題を設定し、協働して分析、考察、討論を行うことが重要である。福祉の授業において、言語活動を通じた具体的指導場面をあげよ。
- (3) 福祉に関する学科における地域や産業界等との連携・交流を通じた実践的な活動や工夫の例を3つあげよ。
- (4) 平成30年3月に告示された「高等学校学習指導要領」で示された教科「福祉」における『介護福祉基礎』の指導項目(4)介護における安全確保と危機管理 エ 福祉用具と介護ロボットについての学習のねらいと指導上の留意点をあげよ。



科目	福祉 解答用紙	2枚中の1	受験番号		氏名	
----	---------	-------	------	--	----	--

(4年)

1

(1)	①		②		③		④	
	⑤		⑥		⑦		⑧	
(2)								

2

(1)														
(2)														
(3)	①		②		③		④		⑤		⑥		⑦	
(4)														
(5)	①				②				③					
	④				⑤				⑥					
	⑦													
(6)														

3

(1)	①		②		③		④	
(2)	ア		イ		ウ		エ	
	オ		カ		キ		ク	
(3)								

科目	福祉 解答用紙	2枚中の2	受験番号		氏名	
----	---------	-------	------	--	----	--

(4年)

4

(1)	①		②		③		④	
(2)				(3)				
(4)								
(5)				(6)				
(7)								

5

(1)	期⇒		期⇒		期⇒		期⇒		期
(2)									
(3)									
(4)	①		②		③				
(5)									
(6)									
(7)									

6

(1)									
(2)									
(3)									
(4)									



# 以下はあくまでも解答の一例です。

科目	福祉 解答用紙	2枚中の1	受験番号		氏名	
----	---------	-------	------	--	----	--

(4年)

1 【19】 (1) の①・②の解答は順不同とする

(1)	①	実践的 (2)	②	体験的 (2)	③	技術 (2)	④	倫理観 (2)
	⑤	創造的 (2)	⑥	福祉社会 (2)	⑦	主体的 (2)	⑧	協働的 (2)
(2)	リーダーシップなど組織についての学習 (3)							

2 【58】

(1)	生活保護法 (2)			児童福祉法 (2)			身体障害者福祉法 (2)								
	知的障害者福祉法 (2)			老人福祉法 (2)			母子及び父子並びに寡婦福祉法 (2)								
(2)	措置方式から契約方式への制度改革が行われた。 (3)														
(3)	①	E	②	A	③	B	④	C	⑤	G	⑥	F	⑦	D	(各2点)
(4)	ユニットケア (2)														
(5)	①	特別養護老人ホーム (3)	②	介護老人保健施設 (3)	③	介護療養型医療施設 (介護医療院) (3)									
	④	養護老人ホーム (3)	⑤	軽費老人ホーム (3)	⑥	小規模多機能型居宅介護 (3)									
	⑦	認知症対応型共同生活介護 (3)													
(6)	日常生活と社会保障制度が密接に関わっていることに気付き考察させるとともに、対人援助の視点から、地域で生活する上で、様々な人との関係性をもちながら、サービス利用者の潜在的な能力を引き出し、多くの人と繋がる支援、役割を發揮できる支援の必要性について理解できるよう留意して指導を行うことが大切である。 (6)														

3 【40】

(1)	①	住み慣れた (3)	②	安心 (3)	③	専門職 (3)	④	自覚 (3)
	(2)	ア	利用者 (3)	イ	自立 (3)	ウ	プライバシー (3)	エ
オ		連携 (3)	カ	代弁 (3)	キ	地域福祉 (3)	ク	後継者 (3)
(3)	その人の価値観や生活スタイル(その人らしさ)を尊重し、また、本人自身が個人として尊重されていることを自覚でき、自尊心を持てるような生き方を支え、実現する介護のこと。 (4)							

科目	福祉 解答用紙	2枚中の2	受験番号	氏名
----	---------	-------	------	----

(4年)

## 4 【27】

(1)	① 要介護 (3)	② 尊厳 (3)	③ 自立 (3)	④ 共同連帯 (3)
(2)	市町村 (2)		(3)	要介護状態の理由が特定疾病によるもの (2)
(4)	年金から保険料を天引きし、市町村に直接納入するしくみ (3)			
(5)	予防重視型システム (2)		(6)	地域包括支援センター (2)
(7)	高齢者と障害児・障害者が同一の事業所でサービスを受けやすくするため、介護保険制度と障害福祉制度の両方の指定を受けることのできるサービス (4)			

## 5 【36】

(1)	先行期 ⇒ 準備期 ⇒ 口腔期 ⇒ 咽頭期 ⇒ 食道期 (5)			
(2)	食事中にむせる、よくせきこむ、飲 (2)	み込んだ後に声がかかる、のどに痰が (2)	からんだ感じがする、微熱が続く等 (2)	(2)
(3)	ベッドを上げ上体を起こした姿勢など、安全な食事姿勢をとる。適合した義歯を使用する。 (2)			
	誤嚥しにくい調理内容にする。食後はすぐに横にならず座位姿勢をとる。食前に嚥下体操を行い、筋肉をほぐす。 (2)			
	利用者にあった一口量やペースで食事介助をする。口腔ケアを実施し、食物残渣をとりのぞく。等 (2)			
(4)	① アルツハイマー型認知症 (2)	② レビー小体型認知症 (2)	③ 前頭側頭型認知症 (ピック病) (2)	(2)
(5)	せん妄とは、意識障害に興奮状態が加わって落ち着かなくなり、さらに幻覚が起こる状態のことをいう。せん妄は、急に起こる、1日の中で症状が変動する、すぐに失禁が起こるといった特徴がある。 (3)			
(6)	伝音性難聴の障害部位は外耳から中耳にかけてであり、音が小さく聞こえるため、補聴器の使用効果が期待できる。対して、感音性難聴の障害部位は内耳にあらわれ、小さく聞こえるだけでなく音にゆがみが加わりはっきり聞こえなくなるなどの症状あらわれる。さらに、一部の高音域が聞き取りにくいいため、補聴器の使用効果は限定的である。 (6)			
(7)	尊厳死を望む場合に生前に示す意思表示やそれを記録した遺言書などのこと。 (4)			

## 6 【20】

(1)	社会福祉基礎、介護総合演習 (4)
(2)	介護実習後の実習報告会、あるいは生徒の状態に応じて、個人またはグループで課題を設定して実施する調査、研究、実験等のレポート作成、成果発表会など。 (4)
(3)	福祉施設等における就業体験活動やボランティア活動、福祉に関する各分野の第一線で活躍する職業人等を学校に招くなどの社会人講師の積極的な活用、学校の施設・設備を地域に開放し、地域の福祉力を高める講座や学習活動など。 (6)
(4)	福祉用具や介護ロボット等が介護従事者や家族の負担を軽減し、介護人材不足の解消につながる。また、適切な活用が、サービス利用者の能力を引き出すとともに、生活を豊かにするといった自立支援につながることを理解させる。留意点としては、介護は介護ロボットや福祉用具で完結するのではなく、介護従事者の質の向上が大前提にあること。また、介護ロボット等の取り扱いの際には安全に十分配慮し、事故防止の指導を徹底する。 (6)